

ものがたりを 読む 1つ

なまえ

がくせい

ポイント

○しゅじんこうの 気もちの へんかを 読みとりましょう。

ドリル

◆ つぎの 文しょうを 読んで、あとの もんだいに 答えなさい。

りえちゃんは、元気で 明るくて、たんぽぽが 大好きな女の子です。弟の ともくんは、まだ よちよち歩きですが、りえちゃんは ともくんと 連れだして、毎日のように 外で 遊んで いました。

りえちゃんは、たんぽぽなどの お花を つんで 集めるのが すきでした。けれども、ともくんは、つんで しまうのは お花が かわいそうだと 言って、りえちゃんが つんで いる 間は、となりで①それを ずっと ながめて いました。

冬が すぎて、風が 少しずつ あたたかく なり、りえちゃんの 大好きな たんぽぽの さく きせつに なりました。

りえちゃんは 二年生に なって、クラスも かわり、新しい おともだちが たくさん できました。その 新しい おともだちと、りえちゃんは 毎日 ぐらく なるまで 遊びました。弟の ともくんと 連れて 遊びに 行く ことは、だんだん 少なくなっ て いきました。

ある日、りえちゃんは、同じ クラスの おともだちと、みんなで かくれんぼを して 遊んで いました。公園の すべり台の かげに かかれて、一人で ※と すわっている とき、足もとに 一りんの たんぽぽが さいいて いました。りえちゃんは、かかれて いる 間、ずっと それを 見つめて いました。そして、ふと 思いました。このごろ、ともくと 外へ 遊びに 行って いないな。

ともくんは 何も 言わなければ、さびしい 思いをして いるかも しれないな。

そこで りえちゃんは、かくれんぼの あと、すべり台の下の たんぽぽを つんで 帰りました。②ともくんに「ごめんね」という 気もちを こめて、あげようと 思ったのです。

でも、帰り道で りえちゃんは 思いました。そう いえば、ともくんは お花を つむと かわいそうだと、いつも 言っていたわ。これを ともくんに 見せると、ともくんは かなしい 気もちに なるかも しれない。

りえちゃんは、家に 帰る とちゅう、たんぽぽの 花に「ごめんね」と 言う、それを そっと 川へ 流しました。そして、何も もたない かわりに、いつも いじょうに 元氣いっぱいの 声と 笑顔で、「ただいま！ ともくん、今日も いい子に して いた？」と、明るく お家へ 入って いきました。

(1) ——— せん①「それ」とは、だれの どういう ようすですか。書いて 答えなさい。

(2) ※に 入る ふさわしい ことばを つぎから 一つ えらび、①から ④の 番ごうを 書きなさい。

- ① かつん
- ② こつん
- ③ ごつん
- ④ ぽつん

(3) ——— せん②「ともくんに『ごめんね』という 気もちを こめて」とありますが、りえちゃんは、ともくんが どういう 気もちで いると 考えて、「ごめんね」と 思ったのですか。書いて 答えなさい。

ものがたりを 読む こと

ドリル

かいとう

ヒント



(1) (れい) りえ
ちゃんの、お
花^{はな}をつんでい
るようす。

(2) ④

(3) (れい) さみ
しい^{さみ}気持ち。



(1) すぐ 前の「りえちゃんが つんで
いる 間^{あいだ}」と いう ぶぶんから、何^{なに}
を つんで いるか (たんぽぽなどの
お花^{はな})を おぎなつて まとめます。

(2) 「ぽつんと」とは、ここでは 一人^{ひとり}で
じっと して いる ときの ようす
を あらわして います。

(3) りえちゃんが「ともくんは 何も
言^いわないけれど、さびしい 思^{おも}いを
して いるかも しれないな」と考^{かんが}え
て いる ところから まとめます。